

つくば市中心市街地におけるイメージ形成要素の空間的分布

艾博翰(地球科学専攻)

1. 調査地域

本調査はつくば市の東大通り、西大通り、南大通り、北大通りに囲まれた中心市街地を対象とする。

2. 調査内容と目的

本調査では、つくば市のイメージを伝える案内板やポスターや建物などの位置と属性情報を記録し、4つのテーマで類型化した上で、その空間的分布特徴を明らかにすることを目的とする。

3. 調査方法

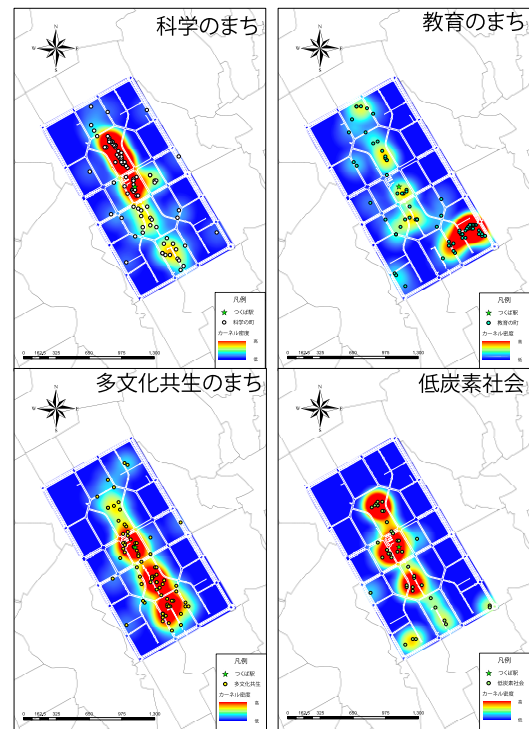
iphone4のGPSカメラ機能を用いて対象物の近い地点で撮影することによってデータを入手した。次に、Locr GPS linkというフリーソフトを利用し、写真の位置情報をGoogle Earthで表示させ、Kml形式として保存した。ArcGIS10でKmlファイルをShapeファイルに変換し、写真の内容を参照して属性データを作り、Shapeファイルとテーブル結合した。つくば市基盤地図情報2500をベースマップにした。イメージ要素を地図化したあと、カーネル密度分析と近接分析を行った。

4. 結果・考察

つくば市まちづくりのテーマに基づき、収集された295箇所のイメージ要素を以下の4つに類型化し、それぞれカーネル密度分析の結果は図1である。

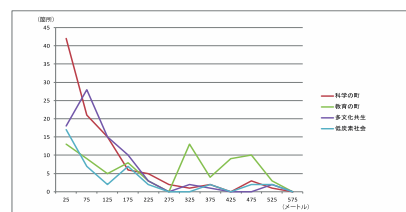
- 1) **科学のまち**：98箇所を記録した。主な対象は学会議のポスター、ロボット実験空間や研究機関の看板などである。その多くは駅と中央公園に分布し、特につくばエキスポセンターが駅前に向き、「科学のまち」を強くアピールしている。
- 2) **教育のまち**：77箇所を記録した。教育文化施設、イベントのポスター、塾は基本対象である。とくに竹園2丁目において学習塾の分布が目立つ。その立地要因

- としては、竹園3町目の学校に近く、住宅地が集中していることが考えられる。
- 3) **多文化共生のまち**：79箇所を記録した。主な対象は日中米3カ国語の禁煙看板、外国人研究者宿舎、つくば国際会議場である。
- 4) **低炭素社会**：41箇所を記録した。エコ駐輪場と節電自販機は基本対象である。エコ駐輪場はつくば駅周辺およびショッピングセンターの周辺に分布している。節電自販機は公園通りに集中しており、東と西大通り沿いに比較的が少ない。



第1図 イメージ要素のカーネル密度分布

第2図は調査地域の南北中心線からの距離がイメージ要素の数との関係を示したものである。



第2図 イメージ要素の距離減衰傾向